

2026年度特別展
南方熊楠と

化石
鉱物



「燕石考」原稿(南方熊楠顕彰館蔵 [原稿 0039])
イギリスから帰国した1903(明治36)年頃に
那智で書かれた論文。熊楠はこの論文を自身の
英文論考のなかで最高傑作の一つと考えていた。

コレクション

えんせきこう しゅうせきこう
貝石から「燕石考」・「鷺石考」

南方熊楠は青年期に「金石学」の訳本編纂や鉱物・化石のコレクションをおこなっています。こうしたコレクションは熊楠の博物学の一角であり、その活動を知る重要な資料です。熊楠は鉱物標本蒐集以外にも、民俗の伝承における「石」について考察をしています。

本展示では、これらのコレクションとともに熊楠の石にまつわる論考や南方民俗学の代表的な論文である「燕石考」・「鷺石考」についても取りあげます。

燕石(えんせき)
三葉虫の尾の化石がツバメのように見えるため、燕石と呼ばれる。

2026
7/4 土
9/23 水祝

協力機関 大阪市立自然史博物館・南方熊楠顕彰館



公益財団法人 南方熊楠記念館

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3601-1 TEL. 0739-42-2872

展示物のご案内



「驚石考」原稿(南方熊楠顕彰館蔵[原稿 0016])



羽山繁太郎著・南方熊楠関『金石学』



鉱物標本筆筒(黒筆筒)のうち2段



木内石亭(重暁)『雲根志』
(南方熊楠顕彰館蔵[和古 620.07])



子産石
相模国三浦郡西浦村(現 横須賀市)
久留和海岸採集 1921年に受け
取ったものか

特別展講演会

石橋 隆氏 (当館客員研究員)

「熊楠、青春時代の鉱物化石収集
—黒筆筒に眠る知られざるコレクション—」

志村真幸氏 (慶応義塾大学准教授)

「石の民俗学—燕石と驚石」

■開催日:2026年8月30日(日)

■時間:午後2時~午後4時

■場所:南方熊楠記念館 本館多目的室

■参加費:無料(入館料が必要)

※定員35名 ※要予約 先着順

右のQRコードからお申し込みください

お電話でも承ります 0739-42-2872

お電話受付時間 9:00~16:00



Google フォーム

特別展ギャラリートーク

当館学芸員による特別展の展示解説を行います。

■開催日:2026年

8月2日(日)・23日(日) 9月13日(日)

■時間:午後2時~20分程度

■場所:南方熊楠記念館 本館特別展会場

■参加費:無料(入館料が必要)

※申込不要

■開館時間▶9:00~17:00 (入場は16:30迄)

■入館料▶大人(高校生以上) 700円 小・中学生 300円 幼児無料

※休館日:木曜日 ※夏休み期間(7/18~8/31)は無休

7/18~8/31 小・中・高校生は入館料無料

※小・中学生の方は大人の方とご入館いただくようお願いいたします。



公益財団法人南方熊楠記念館

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3601-1 (臨海バス停徒歩8分)

TEL. 0739-42-2872



公式ホームページ

